

## しらとり保育所

### 1 施設の課題と取組方針

#### (1) 『心豊かな暮らしづくり』

##### ア サービスの質の向上

課 題	選ばれる施設づくり
現 状	平成 30 年度施行の新保育所保育指針に沿った保育の構築に向けて、職員の専門性の向上を、より一層求められるが、新指針について所内で研修する時間が十分に取れていない。また、新指針の中では保幼小連携と食育活動が重視される方向にあるため、現状を振り返り、食育を更に深めていく必要がある。
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新保育指針の理解を深め、指導計画を作成する。</li> <li>・保幼小と連携を深めていくことができるよう、各校・園・所で連絡を取り合う。</li> <li>・食育を更に進めるために派遣研修へ参加する。また、参考となる取組等は積極的に取り入れる。</li> </ul>

##### イ 利用者の暮らしの保障

課 題	リスクマネジメントの強化
現 状	リスクマネジメントを行い、子どもの安全、事故防止に努めているが、マニュアルの記述が現状に合っていない。また、保護者へのメールを活用した緊急連絡の配信テストを行なっている。
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危機管理マニュアルを現状に合ったものに見直す。</li> <li>・「幼児虐待防止マニュアル」及び「水害・土砂災害避難計画」の整備を行う。</li> <li>・衛生管理についての共通理解をし、マニュアルに沿った対応をする。</li> <li>・保護者、関係機関との連絡体制を見直す。</li> </ul>

##### ウ 福祉ニーズに即したサービス提供

課 題	保育ニーズに合わせた一時保育や障がい児保育の方向性の検討
現 状	核家族化が進み、地域とのつながりが希薄となる中で、子育てに不安を抱える保護者や孤立する保護者が増えており、一時保育の申込が多くなっているが、受け入れには限界がある。低年齢児の申し込みが多い傾向にあるため、受け入れの体制を検討している。また、特別な配慮を必要とする子どもの受け入れニーズが高まっており、職員配置や環境の整備などが必要である。

取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一時保育のニーズにどのように応えていくか、情勢や動向を見ながら検討する。</li> <li>・個別指導計画の作成や所内支援会議の開催により、職員間での共通理解を図る。</li> <li>・障がい児保育に関する研修へ参加する。</li> <li>・特別支援教育に関わる専門機関（松江市発達・教育相談支援センター エスコ、市保健師、特別支援幼児教室等）との連携を強化する。</li> </ul>
------	---

## (2) 『活力に満ちた職場づくり』

### ア 人材の確保と定着

課 題	保育士の確保
現 状	社会全体として保育士が不足している中、松江市圏域内に新設の保育所が増えており、保育士の確保が難しくなっている。現状の人材はベテラン層が厚く安定しているが、産休及び育休等の代替職員の確保が難しい状況である。
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハローワークや保育人材バンクの活用をしながら、人材確保に努める。</li> <li>・ホームページを通じて、魅力ある職場のPRを行う。</li> </ul>

### イ 人材の育成

課 題	職員の専門性向上
現 状	雇用形態や経験年数の異なる職員層であるが、外部研修・所内研修の機会を持ち、振り返りや自己研鑽をしている。現状では参加できる人数に限界がある。
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修内容を精査し、研修計画に沿って実施することで所内研修を充実させる。</li> <li>・研修会により多くの職員が参加し、職員の資質・専門性を高める。</li> <li>・保育士キャリアアップ研修へ参加する。</li> <li>・将来を見据えて、新任保育士の育成を行う。</li> </ul>

### ウ 職場環境の改善

課 題	働きやすい環境づくり
現 状	職場内のコミュニケーションを活発にし、チームワークを高めることで、人材の定着を図っているが、相談がしやすい体制が十分に取れていない。
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働きやすい職場にするための環境を見直す。</li> <li>・ハラスメントに関する周知を図り理解を深める。</li> <li>・コミュニケーションを取りやすい体制を整える。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年次有給休暇等の取得しやすい環境をつくり、職員のリフレッシュに繋げる。</li> </ul>
--	--

## エ 業務の改善

課 題	担当業務の負担を軽減するための体制づくり
現 状	時間内に業務を終えることができるよう、職員間で協力しているが、通常の保育以外の行事や研究等に係る業務について、担当職員の負担感がある。
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の業務を見直し、負担の軽減と効率化を図る。</li> <li>・職員同士で仕事の優先度を考慮しながら、協力体制をつくる。</li> </ul>

### (3) 『快適な住まいづくり』

#### ア 計画的な施設・居住環境の整備

課 題	子どもたちが安全で心地よく活動しやすい保育環境の整備
現 状	日頃から子どもの安全に対して配慮し、月 1 回設備等の安全点検を行っている。また、平成 16 年に定員 60 名から 90 名に変更した時に増築を行ったが、待機児童解消のため定員の弾力化により 120%を超えない範囲での受け入れを行っていることからスペースに余裕のない箇所がある。
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月 1 回の安全点検を継続して行い、改善が必要なものについては早急に対応していく。</li> <li>・中長期的な修繕及び固定資産購入計画を策定する。</li> </ul>

### (4) 『安定的な経営の基盤づくり』

#### ア 収支の安定化

課 題	圏域の利用ニーズに基づく利用定員の弾力運用の継続
現 状	松江市の待機児童者数は平成 30 年 1 月末時点で 271 人であり、年度中途から徐々に増える傾向にある。当保育所へのニーズは高い現状にあり、定員 90 名のところ、20%を超えない範囲で定員の弾力化により対応している。また、一時保育についても、利用ニーズと職員配置のバランスを考慮しながら受け入れを行なっている。
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・0 歳児の予約枠を設け、入所ニーズに応えたとともに見通しを持った年齢構成で運営していく。</li> <li>・各種補助金や加算の制度を活用していく。</li> <li>・年々変わる圏域の状況並びに制度等の情報収集に努める。</li> </ul>

## 2 中期経営計画数値目標

## (1) 利用率

事業名	定員	H28 実績	H29 見込	H30 目標	H31 目標	H32 目標
保育所事業	90 名	119.7%	117.7%	118.0%	118.0%	118.0%
特別保育事業	—	3,168 日	3,000 日	3,000 日	3,000 日	3,000 日

## (2) 固定資産購入計画

(単位：千円)

固定資産名称	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
給食室ソイルドテーブル (更新)	241		
りす組 哺乳瓶保管庫 (更新)	215		
ミニクローラ (更新)	309		
給食室ガス回転釜 (更新)		252	
給食室電解水生成装置 (更新)		426	
給食室タテ型冷凍冷蔵庫 (更新)			656

## (3) 修繕計画 (10 万以上～ 大規模修繕を除く)

(単位：千円)

工事名称	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
小破修繕 (1 件 10 万円未満合算額)	600	600	600
大型遊具フラワーアイランド	680		
1 階デッキ柱・床塗装		238	
きりん組建具			415
2 階トイレ床更新工事			273